

18 sign & pop advertising

サイン × 用美

おいしい料理だけがおいしさを語るわけでは
ありません。料理や店舗を取り巻く全てが細部に
渡りおいしさを表現することが求められていま
す。おいしそうに思える内装、家具、メニュー、お
客様は視覚から入る情報によってその判断をし
ています。お店のサインも情報を伝える大切な
手段です。食べていただく前にお店の良さを伝え
る製品をお届けするのも「用美」の仕事です。

扉の色：老緑(おいみどり)

老松の葉のような灰みを帯びた深い緑色。常緑針葉樹の松が年輪を重ねて年を経たものを「老松」と呼びますが、その老松の深く
淡い葉の色を象徴化した色名です。『若緑』の対語にあたります。

扉の柄：鹿の子(かのこ)

子鹿の白い斑点を模した模様。絞り染めの技法で知られ、非常に
手が掛かるため、総鹿の子絞りの着物は贅沢品とされています。